

## ■入院情報

### 入院に至った診断名①

#### 【1カ月以内に症状を有した症例の分類】

##### 安定狭心症

最近 1カ月間の症状が安定している狭心症で、安静時の発作がない(=症状の誘発は高度の労作時に限り、その頻度と程度が 1カ月間変化していない)。

##### 不安定狭心症

以下のうちの 1つを満たす。

- ①New Onset Angina:最近 1カ月以内に発症した狭心症
- ②Increasing Angina:最近 1カ月以内に悪化した狭心症
- ③Resting Angina:持続する安静時の狭心症、または日常生活が著しく制限される狭心症(歩行数十メートルや階段 1 階分等で症状出現)
- ④梗塞後狭心症:心筋梗塞イベント後 1カ月以内の持続する狭心症。ただし、STや心筋マーカーの上昇は伴わない(伴う場合はそれぞれ STEMI や NSTEMI となる。)

##### 急性心筋梗塞

持続する心筋虚血症状に、心筋マーカーの上昇を伴ったもの。心筋マーカーの上昇は CK や CK-MBの上昇[正常値の2倍以上]、もしくはトロポニン値の上昇[99パーセントイル値以上]とする。以下の STEMI と NSTEMI に分類される。

- 1)ST上昇型急性心筋梗塞(STEMI):  
12 誘導心電図上で隣接する 2つ以上の誘導でST上昇 (J点において胸部誘導 0.2 mV 以上, 四肢誘導 0.1 mV 以上), 新規の左脚ブロック, または純後壁梗塞が認められる。
- 2)非ST上昇型急性心筋梗塞(NSTEMI):  
心電図変化が ST上昇型に属さないか, 存在しない。

##### ステント血栓症

Academic Research Consortium(ARC)の定義上 Definite とされるもの(下記)。この項目は上記の項目とあわせて重複選択可能とする。

### ステント血栓症 ARC 定義

#### 1. 血管造影によるステント血栓症の確認

ステント内またはステント両端 5 mmの部位に由来する血栓が認められ,かつ 48時間以内に以下の基準のうち 1項目以上を満たしたもの。

- 1)安静時虚血症状の急性発症
- 2)急性虚血を示唆する新規の虚血性心電図変化
- 3)心筋マーカーの典型的な上昇および低下

#### 2. 病理によるステント血栓症の確認

剖検または血栓除去後の組織検査による亜急性ステント内血栓の所見。

### 入院に至った診断名 ②

#### 【1カ月以内に症状を特に有さない症例の分類】

##### 陳旧性心筋梗塞

以下のうちの 1つを満たす。

- 1)明らかな胸部症状が最近 1カ月以内に存在しておらず,心電図上で新規の異常Q波が隣接する 2つの誘導以上で出現している場合。
- 2)明らかな胸部症状が最近 1カ月以内に存在しておらず,画像上で区域性の非生存心筋(梗塞:菲薄化し収縮性が欠如)が証明されている場合。

##### 無痛性虚血性心筋梗塞

明らかな胸部症状が最近 1カ月以内に存在しておらず,負荷心電図・画像検査(心筋シンチ,エコー, MRI 等)で区域性の虚血が証明されている場合。

## ■術前情報

### 心不全の既往

これまでに心不全と診断された症例。但し,症状を伴わない左室機能低下例は除く。

### 24時間以内の心肺停止

PCI行前24時間以内で,心肺蘇生を要した心静止(asystole)・心室細動(VF)・脈拍を触知しない心室頻拍(pulseless VT)。

## 24時間以内の心原性ショック

PCI施行前24時間以内で、臨床的に循環不全（下記のいずれか）と判断された症例。

- ・最大限の治療にもかかわらず収縮期血圧 <80mmHg and/or 心係数 <1.8 l/min/m<sup>2</sup>
- ・収縮期血圧 >80mmHg, 心係数 >1.8 l/min/m<sup>2</sup>を保つために強心剤等の静注やIABPサポートが必要。

## 24時間以内の急性心不全

PCI施行前24時間以内で、急性心不全の状態と診断され、安静時・軽労作でも症状を有する場合（NYHA IV 相当）。急性心不全には以下のような症状や兆候が含まれる。

- ・軽労作中の呼吸困難（心臓疾患が原因）
- ・起座呼吸（心臓疾患が原因）
- ・体液貯留（心臓疾患が原因）
- ・湿性ラ音
- ・頸静脈怒張
- ・胸部X線上の肺水腫像

## 今回入院に至った診断名（1カ月以内に症状を有した症例の分類）

診断名の選択は、J-PCI項目定義「今回入院に至った診断名①【1カ月以内に症状を特に有する症例の分類】参照」。「ステント血栓症」だけは他の項目と重複選択可能。「急性心筋梗塞」を選択した場合は、下位選択肢（非ST上昇型、ST上昇型、不明）の選択必須。

## 今回入院に至った診断名（1カ月以内に症状を特に有さない症例の分類）

J-PCI項目定義「今回入院に至った診断名②【1カ月以内に症状を特に有さない症例の分類】」参照

## 併発疾患

### ①糖尿病:

以下のうちの1つを満たす。

- (ア)空腹時 126 mg/dl 以上
- (イ)随時血糖 200 mg/dl
- (ウ)HbA1c 6.1 以上（日本の計算式による、海外での 6.5%に相当）
- (エ)75 g OGTTの 2時間血糖値が 200 mg/dl 以上
- (オ)経口血糖降下薬、インスリンやインクレチン製剤により治療中

### ②高血圧（日本高血圧学会ガイドライン 2009年版）:

以下のうちの1つを満たす。

- (ア)SBP 140 mmHg 以上
- (イ)DBP 90 mmHg 以上
- (ウ)降圧薬により治療中

### ③脂質異常症:

スクリーニングのための診断基準（空腹時採血 ※）いずれかを満たす（ただし、境界域高LDLコレステロール血症は条件から除外した。）。

LDLコレステロール	140mg/dL以上	高LDLコレステロール血症
HDLコレステロール	40mg/dL未満	低HDLコレステロール血症
トリグリセライド	150mg/dL以上	高トリグリセライド血症

LDLコレステロールはFriedewald（TC-HDL-C-TG/5）の式で計算する（TGが400mg/dL未満の場合）。

TGが400mg/dL以上や食後採血の場合には non HDL-C（TC-HDL-C）を使用し、その基準は LDL-C + 30mg/dL とする。

※10-12時間以上の絶食を「空腹時」とする。ただし、水やお茶などカロリーのない水分の摂取は可とする。

出典：一般社団法人日本動脈硬化学会。第3章 脂質異常症の診断基準。動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012年版。2012;33-36

### ④喫煙:

過去1年以内に喫煙歴があるものすべて。

### ⑤腎不全（日本腎臓病学会 CKD 診療ガイド 2009年版）:

以下のうちの1つを満たす。

- (ア)蛋白尿の存在
- (イ)S-Cr 1.3 mg/dl 以上
- (ウ)eGFR 60 ml/min/1.73 m<sup>2</sup>以下（eGFR = 194 × Age - 0.23 × Cre - 0.1154 [女性 × 0.742]）

### ⑥維持透析:

人工透析、腹膜透析施行中のもの。

### ⑦慢性肺疾患（COPD）:

慢性呼吸障害：1秒率70%以下、もしくは、ステロイド薬吸入や気管支拡張薬吸入・内服が行わ

れている。但し、気管支喘息は慢性肺疾患には含まない。

⑧末梢血管障害(AAA/PAD):

心臓以外の血管病変の既往(大動脈瘤または末梢血管[腎, 総腸骨, 大腿動脈など]の50%以上の狭窄)。下記を含む。

- ・間欠性跛行の症状
- ・ABI  $\leq$  0.9
- ・動脈狭窄閉塞による跛切断・バイパス手術・血管形成の既往

病変数

AHA分類 75%(実測 50%)以上の有意狭窄病変を有する主要冠動脈。例えば右冠動脈に90%, 主幹部に75%の病変を認めた場合には、「1枝」と「主幹部」に記入する。

なお、狭窄度は以下すべてAHA基準に応じて規定するものとする。

## ■術中情報

### PCI のステータス

- 緊急: 前日までに予定されていなかったPCI
- 待機的: 上記以外の予定されたPCI

### 成否

病変成功: PCI施行後の標的血管の狭窄度が目視で25%以下かつ末梢血管まで遅延なく造影される[TIMI 3 flow]。

## ■術後情報

### 手技に関する合併症

- ①院内死亡:  
入院中の死亡。長期入院患者の場合、PCI施行より30日以降の死亡は含まない。
- ②PCI手技による心筋梗塞:  
Q波梗塞, 非Q波梗塞を統合。参照) Universal Definition of Myocardial Infarctionでは、PCIに伴う心筋梗塞(MI)は、cTnの正常上限の5倍以上の上昇と規定
- ③心タンポナーデ:  
PCI施行後に新たな血行動態を悪化させる心嚢

液の貯留があり、心嚢ドレナージを要した場合。

- ④補助循環や強心薬を必要とする心不全・ショック(心原性ショック):  
輸液によって改善しない低血圧状態(収縮期血圧 90 mmHg未満もしくは平均血圧 60 mmHg未満)。長期入院患者の場合、PCI施行より30日以降のイベントは含まない。
- ⑤ステント血栓症(院内発症):  
ARCの定義上の definite とする。
- ⑥緊急手術:  
リスクの悪化を避けるために同じ入院中に行われた、予定されていない外科手術。
- ⑦輸血を必要とする出血性合併症(アクセスサイト):  
術中か術後のアクセスサイト(大腿動脈や橈骨動脈)からの出血により輸血を必要とした場合
- ⑧輸血を必要とする出血性合併症(非アクセスサイト):  
術中か術後の非アクセスサイトからの出血(消化管や脳出血等)により輸血を必要とした場合